

豊前国下毛郡 大江氏本家累代 明治36年 大江政治書之						
					生没年	西暦
初代	孝範	藤原備中守		南朝軍	明徳2年11月15日没	1391 吉祥院殿丸山道統居士 金剛山吉祥寺
2代	清範	大家江太郎藤原		南朝軍	嘉吉3年10月9日没	1443 初代孝範の菩提寺として建つ。印号より 吉祥寺とする。火災で島田から角木へ
3代	叔範	大江彈正少弼藤原		南朝軍	享徳2年10月4日没	1453
4代	昌範	大家江備中守藤原		大内氏被官 大家郷郷司	文明16年3月9日没	1484
5代	成範	大家江備中守藤原		大家郷郷司		
6代	善範	大家江備中守藤原			文亀3年3月17日没	1503
7代	友範	大江備中守藤原			永正14年6月9日没	1517
8代	家範	大江備中守藤原			天文5年8月2日没	1536
9代	茂範	大江備中守藤原			天文7年10月14日没	1538
10代	幸範	前備中守藤原		大友氏被官 大江郷郷司	天正5年11月12日没	1577
11代	統範	大江彈正少弼藤原	道範改め	大友軍として耳川の戦で戦死	天正19年4月6日没	1591
12代	重範	大江玄彌		黒田氏に抗し丸山城から蛎瀬に	寛永14年3月6日没	1637 黒田公より百石で召抱えられる。 これより武事を捨て医業を志すにいたる。
13代	範時	大江道益	医家となる		明暦3年7月8日没	1657 細川氏から一代三百石 分家し僧となり八屋村に賢明寺建立 住職大江覚成なり
14代	秀範	大江道益	医家		寛文5年11月4日没	1665 先代重範の例により小笠原公より一代百石下賜せられ、以って奉公す。
15代	貞範	大江忠庵	医家		延宝5年9月4日没	1677
16代	正範	大江忠庵	医家		元禄14年9月13日没	1701
17代	安範	大江忠庵	医家		享保11年4月4日没	1726
18代	道範	大江道庵	医家		延亨元年12月15日	1744
19代	範幸	大江忠庵	奥平藩医	嗣子なく 家禄没収	安永3年10月26日没	1774 奥平昌成公より百石、のち昌成公より5人扶、江戸御供
20代	範幸妻			娘を養育し21代に 継がせる	明和9年8月17日没	1772
21代	幸範	大江忠庵			文化6年7月12日没	1809
22代	翰範	大江忠庵 温古堂	藩医百石	儒道を教授、墓地は角木の吉祥寺にあり	文化13年11月13日没	1816 昌高公より白銀15枚賜る。2人扶 実弟幾右衛門分家す
23代	淳範	大江忠庵	藩医百石		明治5年10月9日没	1872
24代	亨範	大江忠庵	医家・儒者	耶馬溪跡田・法岸寺に入る。嗣子なく22代翰範弟幾右衛門孫保米が25代を継ぐ	天保2年12月29日生	(1831) 墓地は角木の吉祥寺にあり、 三光庵一道居士
25代	清範	大江保米藤原			明治7年11月9日没	1874 墓地は大塚にあり
26代	政治		下毛郡議		明治7年6月14日生	(1874) 墓地は大塚にあり
27代	保雄					墓地は大塚にあり
28代	豪					